



上毛町 農林産物の ブランド化 特産品づくりと 販路開拓への挑戦

レモン

平成
24
年度

レモンの作付開始

道の駅しんよしとみを拠点とし、新たな町の特産物として推進することにより、業者の所得向上を図るため、これまでの柿や柚子の栽培経験が活用できるレモンの作付を始めました。

地域特産品として期待の高いレモンは出荷に向けて適正に管理していく必要があり、普及指導センターに御協力いただき栽培講習会を行いました。



平成
27
年度

6次産業化商品の開発及び販売



町の特産物に先駆けて、6次産業化商品として、レモンを使用した洋菓子の開発に取り組みました。



▲黒レモンケーキ、レモンケーキ



▲レモントルト



品質向上や生産量拡大を目的としたレモン研究会が発足しました。今後は更なる販路開拓や新たな6次産業化商品の開発を進め、上毛レモンのブランド化を進めます。

令和
元
年度

「レモン研究会」発足



平成
29
年度

レモンの出荷増量

平成29年度までにレモン苗を800本、約20名(30a)に配布し、レモンの出荷が年々増え始めています。

また、福岡市で行われた町村フェアへ出品しPRを行いました。

平成
30
年度

試作品
開発

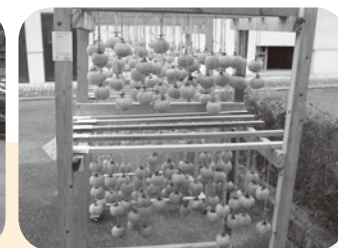
試作品を500個作り、福岡市岩田屋や小倉北区アンテナショップで出品、販売しました。早々に完売するなど干し柿のブランド化への足掛かりとなりました。



▲店頭販売の様子(福岡市、岩田屋)



▲桐箱(12個入)



▲試作品の様子

品質向上や販売量拡大を目標とする大平柿研究会干し柿部会が発足しました。

今後の更なる販路開拓を目指し、ふるさと納税や海外への輸出を視野に入れ2500個作の予定です。



▲紙箱(6個入)

平成
29
年度

干し柿の加工に
着手!

干し柿



▲外観(秀)



▲外観(優)

令和
元
年度

大平柿研究会
「干し柿部会」発足